

3 くらしをまもる



↑おそろしい火事

(1) 火事からくらしを守る



「すごい火事の写真だね。いったいどこで起きた火事だろう。」



「こんな火事が起きたらこわいわ。火事はぜったいに起こしてはいけないわ。」



「そうだね。火事を起こさないよう気をつけないといけないね。火事になると家や財産はもちろん、大切な命をうしなうこともあるからね。」

写真を見て気づいたことを話し合ってみましょう。

火事からくらしを守る工夫を調べてみましょう。

火事にそなえて



「火事から学校を守るためにはどんな工夫があるのかな。」
 まず、ただしくんたちは、学校の中の消防のせつびを調べました。



あなたの学校のせつびを地図にまとめてみましょう。

学校の中にはいろいろなせつびがあるのね。どこにどんなものがあるのか分かりやすくまとめる方法はないかしら。



例をもとに自分の学校のいろいろなせつびを、はたらきの違いで色分けしてみましょう。

- 赤** はやくけすため
- 青** 安全に逃げるため
- 黄** 早く知らせるため

学校だけでなく私たちの家にも家事にそなえるせつびがあるそうよ。



学校の周りにも消防のせつびがないか調べてみましょう。



「学校の周りにも消防のせつびがあのかな。」



「そういえば、わたしの家のそばに赤火栓があったわ。」

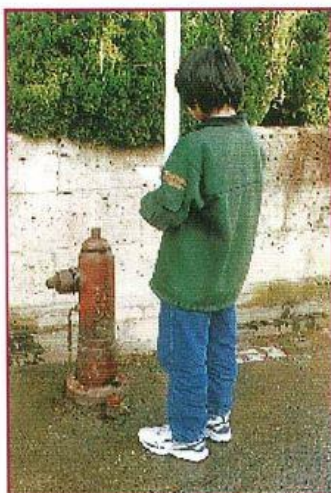
ただしくんとけいこさんは、学校のまわりや家のまわりの消防のせつびも調べることにしました。

まわ
学校の周りの
消防のせつび



二人は、学校や家のまわりのせつびを、地図にまとめてみました。

学校の周りにもたくさんさんの消防のせつびがあるのがわかったわ。



①せつび調べ



②学校の周りのせつび調べ



↑ 喜多方消防署



↑ 山都分署

火事を早く消すために、どんな工夫をしたのでしょうか。

万が一、火事が起きたらどのように消火するのでしょうか。ただしくんたちは消防署に行って、いろいろなお話を聞きました。



「わたしたちは、できるだけ早く火を消せるように、日ごろから工夫しています。」

火事の現場に早く行くために、いろいろな準備をしているね。



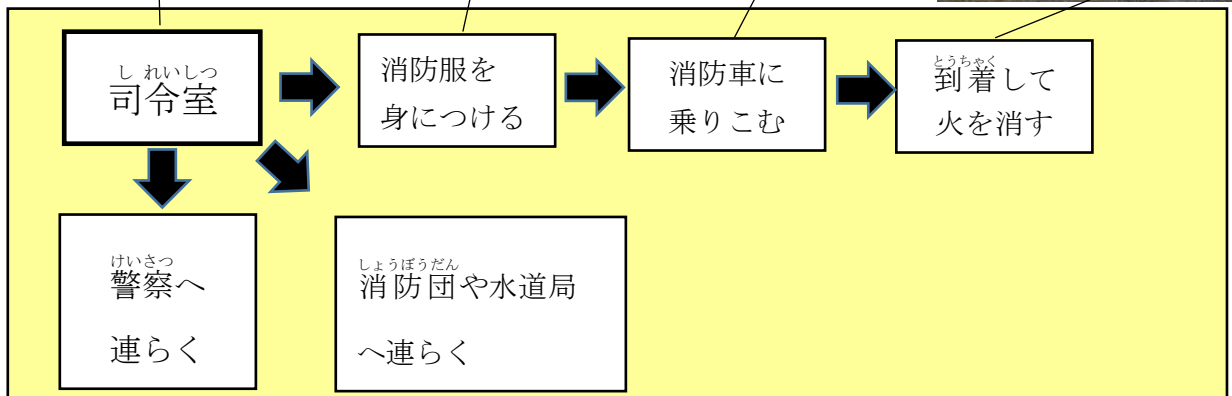
しょうぼうしゃ てんけん
↑ 消防車の点検



きゅうじょくんれん
↑ 救助訓練



かみんしつ
↑ 仮眠室



消火のための協力

消火のために、
人びとはどんな協
力をしているの
でしょうか。



「喜多方の消防署は、まわりの町や村と協力して消火などの活動をしているんだよ。」



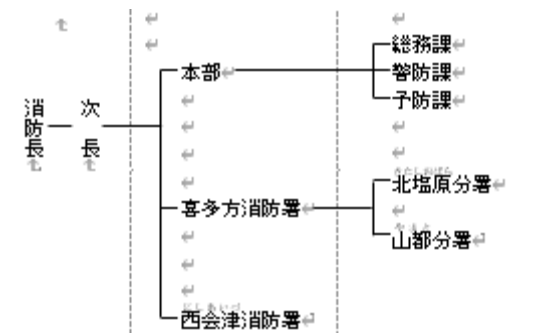
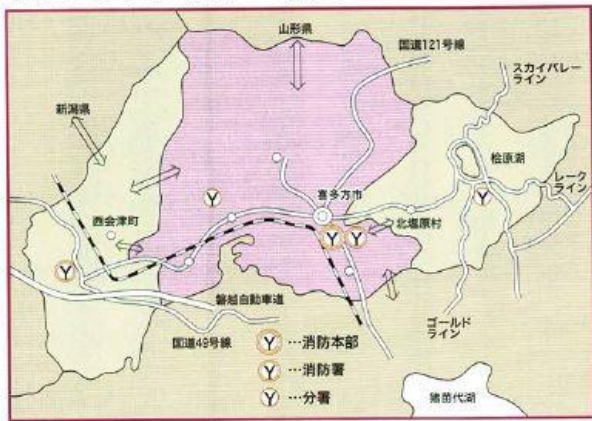
「どこの町や村と協力しているのかな。」



「そういえば、わたしたちのお父さんは消防団に入っているわ。消防団と消防署ってどちらがうのかしら。」

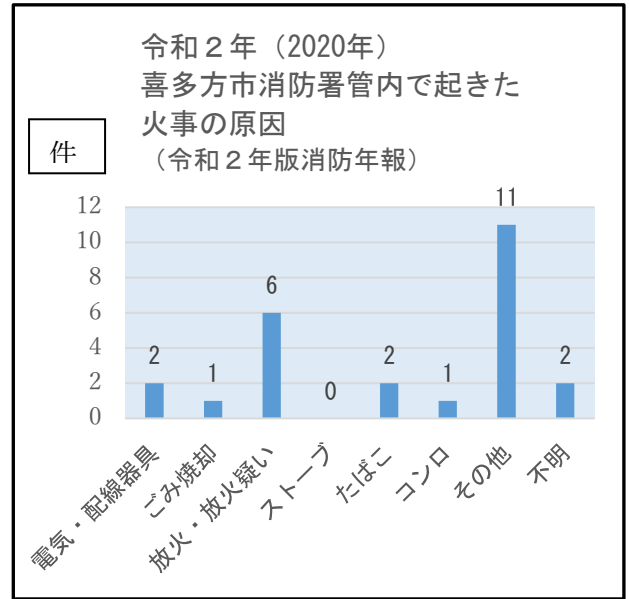
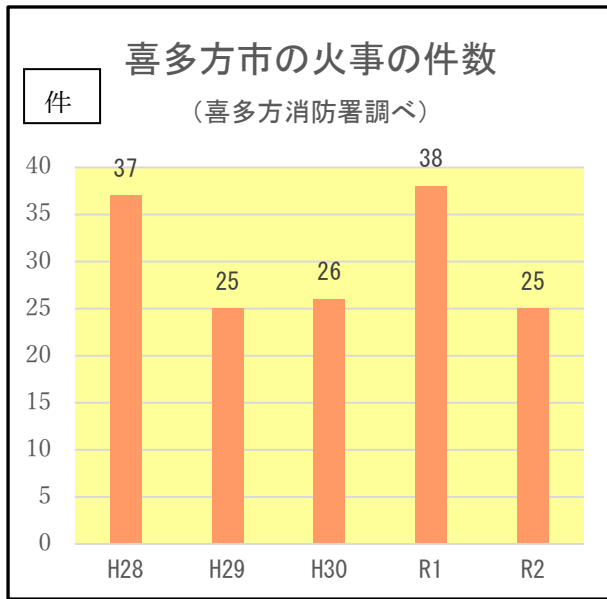
ただしくんたちは、消防署からもらった資料で消火のための人々の協力の様子を調べてみました。

📍まわりの市町村との協力



📍消防団の訓練の様子





2016 2017 2018 2019 2020

町を守る



「令和2年には25件の火事が起きているんだね。」



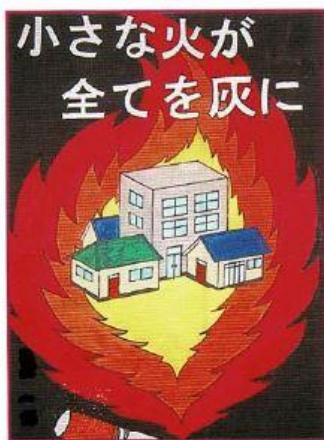
「火事の原因はとってもたくさんあるんだね。」



「火事を防ぐにはどうすればいいのかなあ。」

ただしくんたちは、町の人や消防署の人が火事を防ぐためにどんな活動をしているのか調べました。

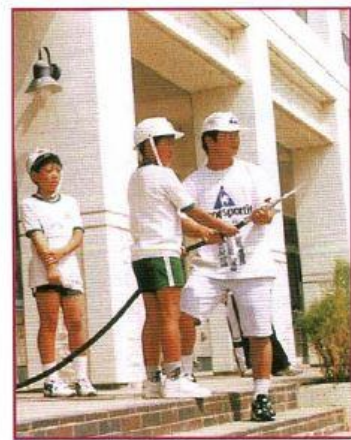
火事を防ぐために、どんな工夫や努力をしているのでしょうか。



↑ 防火ポスターコンクール



↑ 防火せつびの点検



↑ 少年消防クラブの活動

(2) 事故や事件からくらしを守る



交通事故からくらしを守るしせつはどのようなになっているのでしょうか。

↓ 観察カード

道路しらべ	
年 組	名前
◇調べた場所	()
◇道路のようす	
5分間に通った車の数	()
自転車の台数	()
歩いて通った人	()
車のスピード	
・速い ・ふつう ・おそい	
◇安全のためのしせつ	
()	()
()	()

道路を調べよう



「交差点には事故を防ぐいろいろなしせつがあると思うよ。」

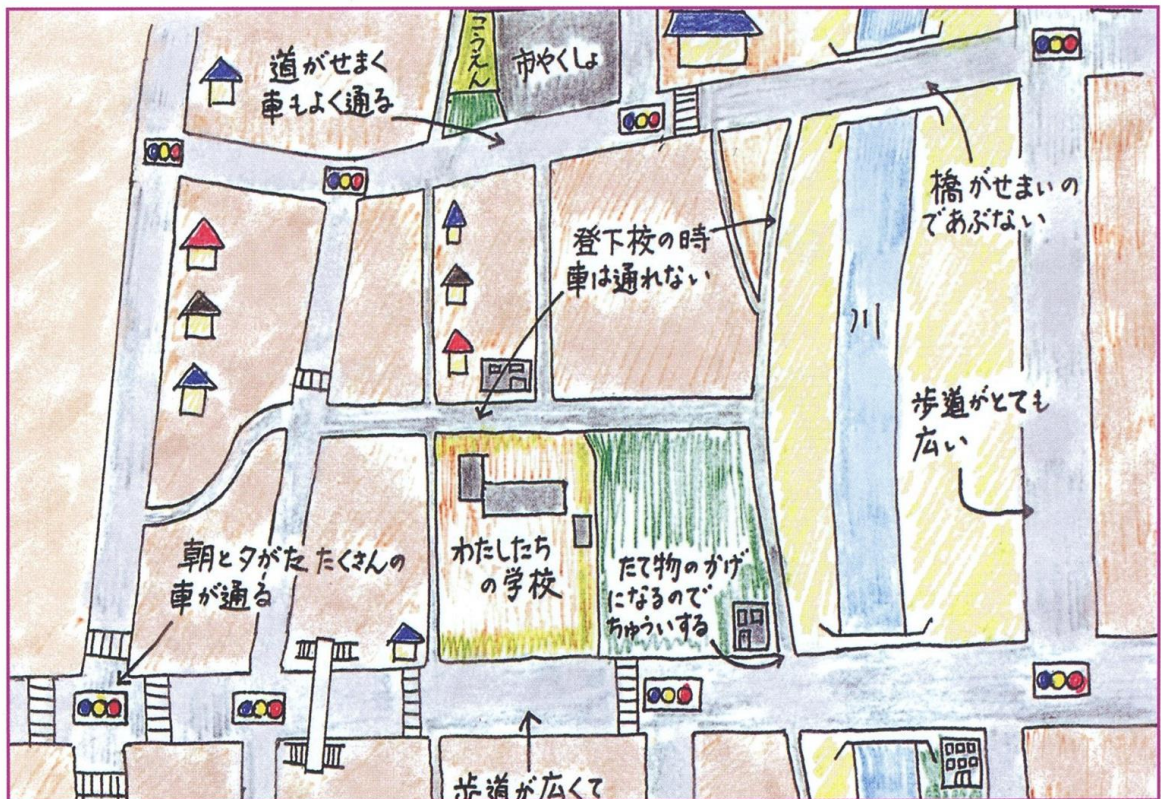


「車の数や、どんな人がその道路を利用しているかも調べたいわ」



「道路によってしせつにちがいがあのかな。いろいろな道路を調べてみようよ。」

みんなは、どこで、どのようなことを調べたらよいか話し合っって観察カードをつくりました。調べた後で、カードを持ちより交通安全マップにまとめることにしました。



↑交通安全マップ

だれのためにとか、なんのためにとか、分けて考えるのもおもしろいね。



時間をきめて車が入れないようにしている道路があります。



同じ交差点でも、場所によってしせつのちがいがありました。



交通事故を防ぎ、安全にらせるための町づくりは、どのようになっているのでしょうか。

もっと知りたいことを出し合うために会議を開いてみよう。

話し合うことの例

- 調べたいことを出し合おう。
- こしょうした信号を直すのはだれか。
- だれがとまれのひょうしきやカーブミラーを取りつけるのか。

道路にあるしせつ
はどのようにしてで
きたのでしょうか。

しせつをつくる

よしこさんたちは、資料を集めて道路にあるしせつ
について調べることにしました。

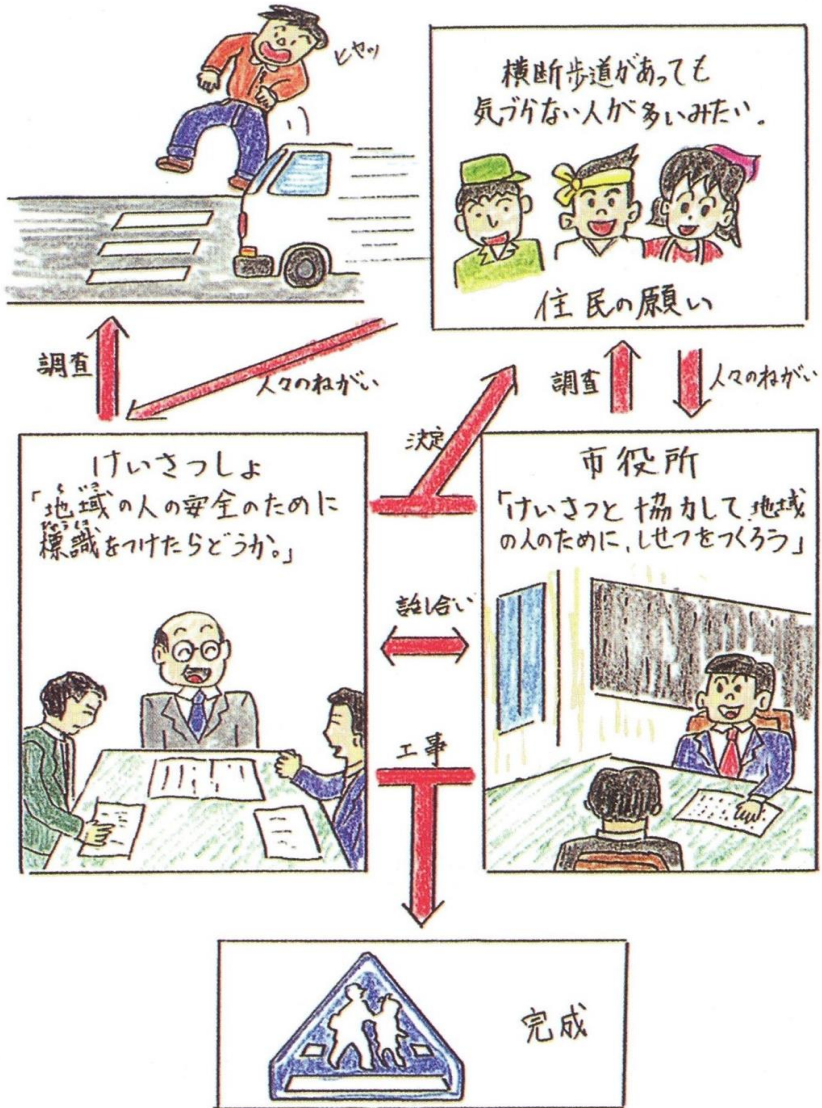


「だれが、しせつをつくることをきめたの
だろう。」



「しせつができて、事故はへったのかしら。」

ひとつのしせつ
をつくるため、い
ろいろな人が参加
しているんだ。



↓安全を考えてつけ
られたひょうしき



↑ 事故を防ぐしせつができるまで



↑ 喜多方市内で起きた事故



↑ 事故に対応する自動車

毎日のくらしと自動車



「ひどい事故だね。乗っていた人はだいじょうぶかな。」



「道路のしせつはずいぶんくふうされているね。交通事故はへっているのかな。」



「一年間で事故はなんけんぐらいあるのかな。」

あきらくんとよしこさんが事故の写真を見て話し合っていると、先生が次のグラフを見せてくださいました。

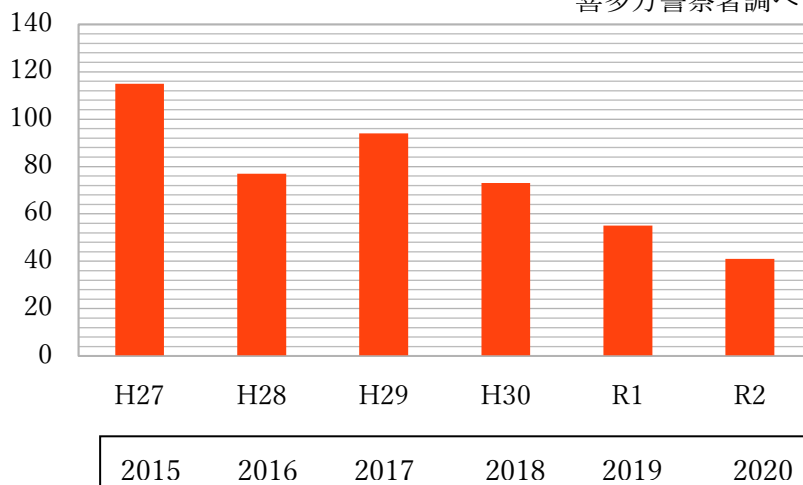
喜多方市では、事故や事件が起きているのでしょうか。

旧喜多方市では1年間にどのくらいの数の交通事故が起きていますか。

また、事故のうつりかわりはどうでしょう。

旧喜多方市で交通事故が起きた数の変化

喜多方警察署調べ



「旧^{きゅう}喜多方市では、平成27年に115けんも交通事故が起きているんだね。」

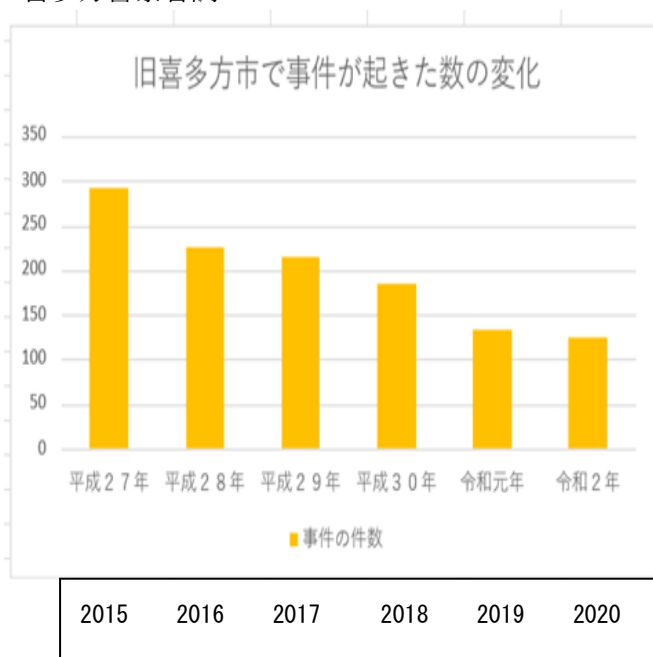


「でも、事故のけん数がへってきているわ。」



「自動車はとてもべんりな乗り物だけど事故はこわいわ。」

喜多方警察署調べ



喜多方市では、事件もへってきています。最近はおレオレさぎや熊のひがいがあるそうです。警察の人はひがいにあわないようにみんなによびかけています。

国道121号線のバイパス道路ができ、喜多方市の道路は通りやすくなりました。また喜多方市はラーメンや蔵^{くら}のまちとして有名なためたくさんの観光客^{かんこうきゃく}がおとずれます。それらの理由から、以前よりもたくさんの自動車が通るようになりました。あきらくんたちは、事故が起きた時の様子について、もっと調べてみることにしました。

交通事故が起きたら

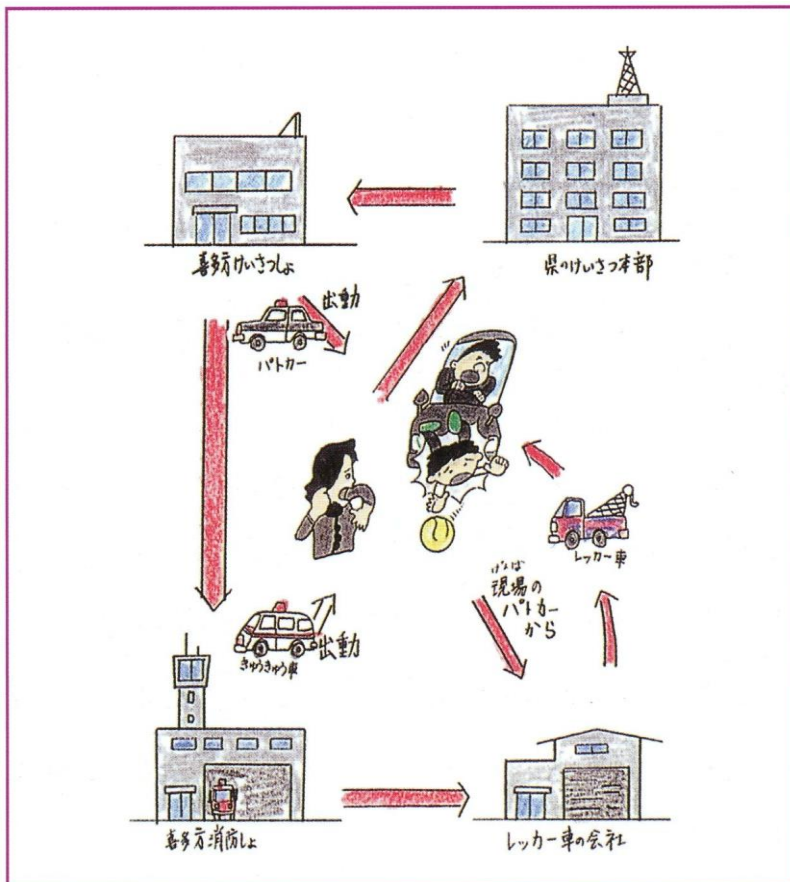


「交通事故が起きたら110番に電話することはわかるけど、そこからどこにつながるかはわからないわ。」



「事故のれんらくは、県の警察本部にはいます。そこからしれいを受け喜多方警察署からパトカーが大急ぎで、事故現場にむかいます。」

しれいしつ
司令室の人は、下のような図を出して、説明してくれました。



交通事故が起きた時のれんらくの仕組みはどうなっているのでしょうか。



↑パトカー

事故が起きるとどんな人たちが事故現場に行くのでしょうか。

事故にそなえて、警察の人はどのような工夫をしているのでしょうか。

交通事故にそなえて



「休日や夜中、事故の知らせが入ったらどうするのかな。」



「事故はいつ起きるかわからないし、夜も、ねむらないで仕事をしているのかな。」

事故にそなえて、どのようにしているのか、二人はけいさつの人にきいてみました。



警察の人の話

交通事故は、いつ起きるかわかりません。

わたしたちは、夜や休みの日も交代で仕事をこうたいして、いつでも事故の現場にいけるようになっています。



夜も電気がついている警察署👉

事故をふせぐために



「事故が起きた時のけいさつのは仕事は、だいぶわかったね。でも、事故が起きないようにするための仕事も、しているんじゃないかな。」

交通事故を防ぐために、警察の人はどのような仕事をしているのでしょうか。



「そういえば、交通安全教室では、けいさつの方に自転車の安全運転を教えていただいたわ。」



「わたしたちは、事故をふせぐために、さまざまな仕事をしています。」



↑ 交通安全こう習会を開さい



↑ とりしまり、パトロール



↑ そくどきせい「ゾーン30」をせいび



↑ 交通安全教室で安全しどう

警察の人のほかに、
どんな人たちが交通
安全の運動を進めて
いるのでしょうか。

地いきでのとりくみ



「けいさつの人以外にも、安全なまちづくりの活動をしている人は、いるのかな。」



「わたしのお兄さんは、家庭の交通安全すいしん委員！交通安全をよびかけているわ。」



「ぼくのおじいちゃんは、登校や下校の見守りをしてきているよ。」

三人は、学級のみなどとそうだんして、けいさつの人以外にも、地いきのどんな人がどのようなとりくみをしているのかを調べてみました。



↑ 交通安全すいしん委員「ちかいの言葉」



↑ あいさつ、見守り活動



↑ 「こども110番の家」



↑ 地いきの安全マップ

安心してらせるために

右の写真の道路は、歩く人と車を運転する人のりょう方を考えて作られた道路です。交通事故をふせぐどんなくふうがあるでしょうか。



「歩道が広くて、歩きやすいよ。」

↑ 広い歩道と歩道橋がある道路



「歩道橋をわたれば、事故にあうこともないわね。」

みなさんも、安全なまちづくりを考えてみましょう。



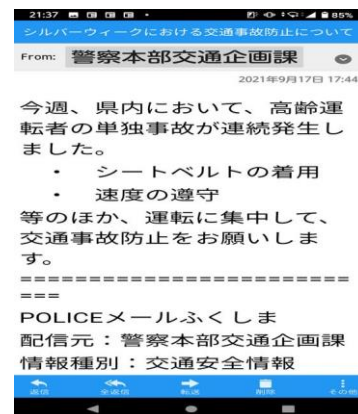
↑ 自動車せん用の会津^{じゅうかんきた}縦貫北道路



↑ えん長工事が進む歩道



↑ 冬の雪と風をふせぐ^{ほろせつ}防雪さく



↑ 「ポリスメールふくしま」